

令和5年度 南浜の家くじら 事業報告

1、 くじらの理念とくじらの心

くじらの理念

・地域で支え 笑顔 温もり

くじらの心

・みんな 生き活き くじらで暮らす

2、 くじらの運営方針

くじらの理念「地域で支え・笑顔・温もり」とくじらの心「みんな生き活きくじらで暮らす」の二つを柱としている。理念は日々、実践していく中で、さらに磨き上げていくものという意識を持つことに努めている。くじらの心には、くじらに関わる全ての人が、大海原を生き生きと泳ぐくじらのように、元気に毎日を過ごせる場所にしたという願いが込められている。またこども園併設の特色を活かし、こども園行事や日常生活において、園児とふれあい交流を深めていく。

3、 職員配置体制

理事長	木村鶴恵
所長兼管理者	高橋恵子
介護支援専門員	鈴木礼子
看護師兼介護職員	三上久美子 本間優 野沢千春 程熊範子
介護職員	川原木実 高橋順子 高橋和宏 種市恵利加 油井由香 地代所智美 高橋加奈恵 竹駒恵子
事務員兼介護職員	山口久美子
調理員	中屋敷良子
運転手	高清水千代美 大森順子
用務員	竹駒佐登美

4、 定員数と目標利用者数

- ・定員数 25名
- ・目標利用者数 20名（利用率80%）

5、 令和5年度事業目標

- 1、ひとりひとりの気持ちに寄り添いながら支援することを大切にし、本人の思いや希望を受けとめる方法を考える。
- 2、生きることを支援するという姿勢で、本人ができること、できる可能性があることに着目して、本人の本来の能力を生かし馴染みの職員による継続的な生活の支援を行う。
- 3、住み慣れた風景、人とのふれあい、訪ねてくる知人などと共に暮らし続けることの支援を考える。
- 4、本人の望む暮らしという共通の目標を実現するために個々の力を出し合いよりよいチームケアを構築する。

6、各部会報告

○職員会議／報告者（所長）

- ・毎月1回（第3、4水曜日）職員会議実施
- ・毎月カンファレンス開催
- ・次年度も更に内部研修を充実させ、活発な意見交換のある会議にしていきたい。
- ・次年度も毎月、ヒヤリハットの検証を全職員で行い、質の高いケアを目指す。

○研修／報告者（所長）

- ・今年度は、リモート研修を多く受講できた。全職員が研修を受ける機会を増やしたい。

	内部研修	場 所	講師
4月	言葉がけについて	南浜の家くじら	理事長
5月	前立腺がん、ペースメーカー	南浜の家くじら	三上 本間
8月	褥瘡について	南浜の家くじら	所長 鈴木
9月	虐待、身体拘束について	南浜の家くじら	所長 鈴木
10月	感染症対策について	南浜の家くじら	三上 本間
11月	身体拘束について	南浜の家くじら	全職員
1月	勤務態度の基準	南浜の家くじら	全職員

	主な外部研修	場 所	受講者
6月	適切なケアマネジメントの手法	WEBセミナー	鈴木
7月	栄養、口腔ケアマネジメントの実際	WEBセミナー	油井
7月	業務継続計画（BCP）策定のポイント	WEBセミナー	山口
8月	介護ハラスメントの基本と対応	WEBセミナー	野沢、所長
9月	居場所づくりコーディネーター養成講座	アピオあおもり	所長
10月	福祉施設における感染症予防対策	保健センター	本間
11月	認知症キャラバンメイト研修	WEBセミナー	鈴木
11月	こども食堂実習	あおば高等学校	所長
12月	人生の最終段階を地域で支える	WEBセミナー	野沢
12月	医療と介護の多職種連携	WEBセミナー	鈴木
1月	インフルエンザ、コロナ対策	WEBセミナー	程熊
1月	認知症サポート医地域支援強化	WEBセミナー	所長
2月	認知症介護基礎研修	WEBセミナー	油井、竹駒
2月～3月	高齢者虐待防止の現状と課題	WEBセミナー	職員13名
3月	八戸市VR認知症体験会	プラザホテル	種市

他 42の研修会に参加

○ケア向上委員

①宿泊サービス／報告者（高順）

- ・毎週のシーツ交換の実施
- ・夜間に対応した防災グッズ準備
→スタッフルームに懐中電灯など設置
- ・夜間帯の施錠や防犯対策
- ・マットレスや布団がへたってきているので交換の時期。
- ・洗濯物が多く、干すスペースを確保するため工夫が必要。

②通所サービス／報告者（川原木）

- ・10、3月検討会議開催
- ・利用者様のカバンは、車に乗り込む時に一緒に積む
- ・車の乗り降り時、転倒に注意して、しっかりついて行う。
- ・ホールの椅子やテーブルの緩んでいるネジをしっかりと点検できた。
- ・全車両に利用者様一覧表、緊急連絡先を設置する

③訪問サービス／報告者（野沢）

- ・10、3月検討会議開催
- ・訪問サービス内容（通院、電気器具の確認、内服薬確認、通所介助、血圧測定、体調管理、コミュニケーション、買い物）
- ・情報交換をもっと密に行っていきたい
- ・新規の利用者様が多く、対応がそれぞれ変化してきているので、関わった職員だけではなく全職員が対応できるようにしていきたい。

○行事・レク委員／報告者（高恵）

- ・報告書と一緒に写真も掲示したことで、シフト上参加できない職員も行事の事を知ることができ良かった。
- ・今後も機能の低下を防ぐような行事、レクリエーションを取り入れていきたい

	行事名（主なもの）	担当
4月	お花見ドライブ、	種市
5月	園芸レク	高順、野沢
5月	あるでいーば買い物ドライブ	高恵、山口
6月	和菓子づくり	山口、高恵
7月	七夕まつり	種市、油井、中田
8月	ミニミニ水族館	高和、高恵
9月	敬老会、手作り弁当	高恵、山口
10月	秋祭り	高恵
10月	ハロウィーン	三上、高和
12月	クリスマス会	山口、地代所
1月	新年会（うどん作り）	油井、竹駒、中屋敷
2月	豆まき	高和

2月	認知症サポーター養成講座（大久喜小学校）	鈴木、高惠 山口、程熊
3月	ひな祭り会	竹駒、中屋敷

- ・毎月第2又は3週…キレイ週間
 - ・毎月最終日曜日…くじらの会
 - ・毎月変わり湯実施
 - ・毎月誕生日会実施（こども園合同の時もある）
- 今年度は7回開催できた。

○送迎運行委員／報告者（川原木）

- ・車両点検（1週間に1回）実施
- ・給油（1週間に1回を目安に）実施
- ・送迎管理表点検（2週間に1回）実施
- ・洗車の掃除、除菌に関しては運転手が毎日実施
- ・6年度はスタッドレスタイヤ3台分、夏タイヤ2台分が交換時期。

○食品衛生委員／報告者（中屋敷）

- ・献立表の作成（中屋敷） 食材発注(中屋敷)
- ・棚の整理整頓を行い、使用不可の物を処分できた。
- ・厨房担当者以外の職員も発注書の書き方を覚えることができた。
- ・各利用者様にあった食事を提供できた。
- ・手作りおやつも好評で次年度も続けていきたい。
- ・不要品をためず、食材を大切に使い切るよう心がけた。

○環境美化委員／報告者（高順）

- ・施設設備の自主検査 3ヶ月に1回（4，7，10，1月）
- ・備品の発注 月2回実施
- ・汚れが目立つところは都度掃除している。
- ・草取りは、職員が多い時や時間がある時に実施している。
- ・発注に関しては、今後担当職員以外も行えるようにしていく。
- ・靴箱（玄関）の清掃をもっとこまめに行えたら良かった。

○入浴・排せつ／報告者（野沢）

- ・毎月変わり湯を実施。
利用者さんから自然の物（椿の花、こんぶ、りんご、ゆず、米ぬか、菖蒲、みかんの皮）
をつかうと大変喜ばれていた。来年も続けていきたい。
- ・清拭タオルの補充。
- ・脱衣室、トイレ保管庫、オムツの管理実施 在庫管理、発注がスムーズにできた。
- ・利用者様のスキンケア用品、軟膏等の管理

○その他 ボランティアの方が定期的に来てくださっている。

○健康管理委員／報告者（本間）

- ・利用者様の持病や注意点について発信できた。
- ・来年度は、流行が予測される季節病について早めに情報発信していきたい。

	活動内容（資料を回覧）	担当
4月	前立腺がんについて	三上
5月	ペースメーカーについて	三上
6月	食中毒、ウェルシュ菌について	三上
7月	ヒトメタニューモウイルスについて	三上
8月	ヘルパンギーナについて	三上
9月	はしかについて	三上
10月	薬の種類と注意点	三上
11月	AEDと小児の胸骨圧迫	三上
12月	インフルエンザウイルスに対する消毒	三上
1月	インフルエンザの基礎知識	本間
2月	ノロウイルスの特徴	本間
3月	腸捻転について	本間

7、運営推進委員会／報告者(所長)

- ・参加者（市職員、高齢者支援センター職員、町内会長、民生委員、法人理事、利用者ご家族、地域の駐在所職員、事業所理事長、事業所所長、事業所介護支援専門員、事業所職員）

第1回	令和5年	5月26日(金)	自己紹介 今年度の活動計画
第2回	令和5年	7月28日(金)	実績、活動報告 合同防災訓練について
第3回	令和5年	9月29日(金)	防災活動について
第4回	令和5年	11月24日(金)	外部評価、スタッフ個別評価の報告
第5回	令和6年	1月26日(金)	外部評価、スタッフ個別評価の報告、事業報告
第6回	令和6年	3月8日(金)	くじらの会報告 新年度に向けてくじらの課題

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、7月は書面報告